

あるが精一氏は2232票差で第2位 成瀬厚氏は衆院比例票を1.65倍に増やすも第3位

日野市長選挙・市議補欠選挙の結果について

2025年4月13日
日野市長・市議補選闘争本部

4月13日投票開票の日野市長・市議補選の結果、あるが精一氏は19,556票を得票しましたが第2位で惜敗、市議補選（定数1）では日本共産党の新人、成瀬厚氏が衆院比例得票の1.65倍を得票する健闘をいたしました。第3位で落選しました。ご支援いただいた皆さんに心から感謝を申し上げますとともに、ご期待に応えられなかったことをお詫び申し上げます。

今回の選挙で、あるが精一氏は「教育子育てで全力応援」「地域経済に元気を」の「二つの推し」、緊急物価高騰対策、日野市を立て直す3つの改革など、財源をも示しながら具体的な政策を掲げてたたかいました。こうした政策論戦では、他の2候補を圧倒し、これらの政策が届いたところでは、子育て世代、高齢者、障がい者、地域経済を支える小規模事業者のみなさんの共感を大きく広げるものとなりました。また、あるが精一さんが、前回の市長選挙での惜敗後も、引き続き市民とともに市政の不正を追及する先頭に立ち、この4年間でも、だまし取られた市民の税金をとりもどした実績などその政治姿勢にも大きな共感が生まれました。市民の団結の要になって、ご奮闘

申し上げます。

2月22日に結成した確認団体「わいわい対話でつくる日野」を中心に、市民が主役の選挙を作り出すためにも力をあわせた市民の様にも感謝申し上げます。選挙に敗れたとはいえ、市長候補と市民は対等のパートナーと位置づけ、原則毎週土曜日に開催された「わいわいミーティング」で、政策の検討、運動の進め方についての討論が行われ、政策を市民の願いにかみ合ったものとしえ練り上げられていったこと、活動の仕方、自主性や多様性を尊重しあい、お互いに学びあえるものとなったことは貴重な経験になりました。こうした共同の取り組みは、今後の運動に生かすことができると確信します。

この選挙の結果については、さらに市民のみなさんとともに総括をふかめ、不正のないクリーンな市政、税金は市民のために使われる市政を実現するための糧といたします。市民の皆様のご意見をお寄せいただければ幸いです。選挙には敗れましたが、教育・子育て支援や緊急物価対策をはじめとして市民のみなさんの要求はいっそう切実であり、日本共産党は引き続き市民の皆さんと力を合わせその実現に全力をつくします。

裏金自民党や生活困窮で国民の怒りが渦巻く中で闘われた選挙になりました。市長選挙に引き続き6月には東京都議会議員選挙、参議院選挙がたたかわれます。市長選挙の教訓にも学び、今度こそ清水とし子都議の再選、参議院選挙での党の躍進のために全力をつくす決意です。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

投票率 39.90% (前回 41.54%)

	候補者名	党派名	得票数	得票率
当	古賀壮志	無所属	21,788	35.88%
	あるが精一	無所属	19,566	32.20%
	菅原直志	無所属	19,374	31.90%

	候補者名	党派名	得票数	得票率
当	吉澤あかね	無所属	24,516	41.30%
	坂本祐人	無所属	22,441	37.80%
	成瀬厚	共産党	12,398	20.88%